

ちば里山新聞

(第57号)
 編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
 ☎ 0438-62-8895
 題 字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの事業委託を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

台風15号で里山も大きな被害

かつて経験したことのない風が吹き荒れる

9月9日に千葉市付近に上陸した台風第15号は、瞬間最大50mを超える強風で千葉県を襲い、停電、断水、交通機関の麻痺など、未曾有の被害をもたらしました。県内の多くの森林で倒木などの被害があり、大きな被害を受けた里山活動団体では、予定していたイベントの中止もあり、フィールドの復旧作業に取り組んでいます。今回の台風被害では、写真のように地域や林種により様々な被害が見受けられます。このような風倒被害の



割り裂けた雑木 市原市米沢の森



杉の中折れ 袖ヶ浦市椎の森

ほか、枝折れも確認されているため、森林に入るときは、高いところから落下の危険が無いか、今一度の確認が必要です。被害木の処理には他の木に掛かっていたり重心が傾いていたりするので、より慎重に対応する必要があります。被害の規模によっては無理をせず、専門家に処理を依頼するなり、外部に任せるといった判断も必要です。



竹林の中で倒れた杉 市原市ジャックの森

安全講習会に100名以上の参加!!

8月30日に木更津市金田地域交流センターにて安全講習会が開かれ、7月に県内の里山活動団体で伐倒作業中の事故があったこともあり、スタッフを含め100名以上が参加しました。講師として兵庫県神戸市から藤本吟蔵氏(藤本労働安全コンサルタント事務所/CSP 労働安全コンサルタント)が招かれました。藤本氏は、安全は事故の起きない状態を指してはいない、安全は状態なので見えず、事故は結果だから見える、そして安全



熱弁を振るう藤本氏



災害のシナリオについて

はリスクを通して見えてくると語り、そのリスクを許容可能なレベルにすることが重要であると言った。そして、リスクアセスメント(危険源の特定)を行い、事故に対する防止策と発生してしまったときの対応を作業手順書に記載することが必要であると、また、見落とし、見間違いのヒューマンエラーの発生を防ぐためには人間の特性(錯覚等)を正しく理解し、危険を伴う作業の要所要所で確認すべき対象をしっかりと見つめ、人差し指で方向を示し、「伐倒方向、ヨシ!」等と唱えること(指差呼称)が大事だと指摘しました。

令和元年度ちば里山カレッジが修了

森の豊かさを学び森づくりを知る

令和元年度の里山カレッジが修了しました。**第1回** 千葉県緑化推進拠点施設研修室で自然観察指導員の加藤恵美子さんが房総の生き物とそれらを育む森林を幅広い視点で紹介、午後は同施設内で100種の樹木を観察しました。**第2回** 全国植樹祭から14年後の森の様子を観察した後、豊英島(君津市)で人為的影響の少ない環境の植物、動物の生育の変化のあり方について学習しました。**第3回** 千葉県緑化推



むつみの森で丸太積みを観察

	内 容
第1回	千葉県の豊かさを学ぶ
第2回	生物多様性保全の森づくり
第3回	森林の密度管理～理論と実践
第4回	里山の色々な姿を学ぶ
第5回	都市近郊の里山保全活動
第6回	都市近郊の森づくり

進拠点施設内で里山整備に必要な、森林密度管理、相対幹距比、相対照度について学習し、伐倒を体験しました。結果、森林密度、相対照度の変化を感じる体験になりました。**第4回** 千葉県松戸市の3つの樹林地を観察し、地形的に特徴のある谷津を形成する舌状台地が織りなす起伏にとんだ風景と変化のある植生を観察できました。**第5回** 八千代市のむつみの森、熱田の森は都市近郊に残された森、印西市草深の森は田園風景の広がる中にある樹林地。各々に樹林

地の整備のグループが活動し保全に努めている様子が把握できました。

第6回 千葉市民会館で千葉大学柳井重人准教授が「都市近郊における里山活動」と題して講義を行い、その後、グループ討議で「印象に残った森づくり」について話し合い、ワークショップ「私の森づくり」で木の実、葉、切り株を使い、思い思いのクラフト作品を仕上げました。

ちば里山カレッジの来年度については6月頃からの予定です。詳しくは、新年度、ちば里山センターのHPをご確認ください。



野うさぎの森から空を見上げる

イベント情報

*事務局に回答のあったものの中から1月～3月に実施されるイベントの紹介です。その他のイベント情報は、ちば里山センターのホームページをご覧ください。

今日から始めよう！バードウォッチン

冬の野鳥の生態を観察します。

◇開催日/1月12日(日) ◇参加費/50円

◇場 所/千葉市昭和の森

◇申込・問合せ/☎043-271-0282(伊藤)

詳しくは、[自然観察ちば](#)で検索

里山体験&ワークショップ 主催:おとずれ山

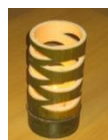
里山の体験と竹シェードなどが手作りできます。

◇開催日/毎月第3土曜日 ◇参加費/500円程度

◇場 所/ジャックの森(市原市天羽田)

◇申込・問合せ/[おとずれ山の会](#)

☎090-4735-6504(高橋)



里山保全活動体験 主催:千葉市地球温暖化対策地域協議

植樹、竹伐り、竹細工、キノコの植菌等が体験できます。

◇開催日/3月7日(土)

◇場 所/とみたの森(千葉市)

詳しくは、[ちば森づくりの会](#)で検索



無添加・無農薬の自然食の手作り体験教室

里山の恵みを受けて育った無添加、無農薬食材で

そば打ち、味噌作りが楽しめます。(3月まで)

◇場 所/千葉市若葉区谷当町70

◇申込・問合せ/☎043-239-0645(なかにいだ)

開催日等詳しくは、[わたしの田舎谷当工房](#)で検索

県民の森へ行こう！

県民の森では、毎月様々なイベントを開催しています。どうぞ奮ってご参加ください。

イベントの申込方法は、各県民の森にお問い合わせください。

椎茸のホダ木作り 定員：30名

椎茸の種駒を木に植え付け自宅で栽培できます。

◇開催日／1月12日（日） ◇参加費／1,500円

森で林業体験 定員：15名

森林を守る仕事を学びます。

◇開催日／1月26日（日） ◇参加費／1,000円

紙玉鉄砲作り ～竹で鉄砲を作ろう～

◇開催日／2月2日（日）

ひな祭り人形作り

自然のものを使ってひな飾りを作ります。

◇開催日／2月9日（日）

自然ウォッチング

◇開催日／2月16日（日）、3月15日（日）

森のネイチャーゲーム

◇開催日／3月22日（日）

申込・問合せ／船橋県民の森 ☎047-457-4094

詳しくは、[船橋県民の森 イベント情報](#)で検索

安房高山ハイキング（約13km） 定員：30名

安房高山や愛宕神社を目指して歩きます。

◇開催日／1月11日（土） ◇参加費／500円

里山の林業体験 定員：5名

森を守るお手伝い。間伐などを体験します。

◇開催日／1月26日（日） ◇参加費／500円

鑑賞炭作り 定員：10組

空き缶を使って、花やどんぐり、果物で炭をつくります。

◇開催日／2月15日（土） ◇参加費／500円

冬のバードウォッチング 定員：30名

遊歩道を散策しながら野鳥の観察を行います。

◇開催日／2月22日（土） ◇参加費／300円

早春の里山自然観察会 定員：30名

三島湖周辺の里山、三島神社などを歩きながらの観察会

◇開催日／3月7日（土） ◇参加費／300円

金毘羅山ハイキング（約16km） 定員：30名

金毘羅山や旅名フルーツ村、笠石などを巡ります。

◇開催日／3月11日（水） ◇参加費／500円

河津桜祭り ◇開催日／3月上旬ごろ予定

申込・問合せ／清和県民の森 ☎0439-38-2222

詳しくは、[清和県民の森 イベント情報](#)で検索

森の手入れ&ツルカゴ作り 定員：10名程度

つる取り作業後、取ったつるでカゴを編みます。

◇開催日／1月12日（日） ◇参加費／1,000円

森の手入れ&オブジェ作り 定員：10名程度

つる取り作業後、取ったつるでオブジェを作ります。

◇開催日／1月18日（土） ◇参加費／1,000円

野鳥観察会 定員：30名程度

白鳥など水鳥を中心とした野鳥の観察会です。

◇開催日／2月11日（火・祝日） ◇参加費／300円

椎茸駒うち&栽培体験 定員：15組程度

ナラなどの原木に椎茸の駒うちをし自宅で栽培します。

◇開催日／2月16日（日）

◇参加費／1,800円（1組）

申込・問合せ／東庄県民の森 ☎0478-87-0393

詳しくは、[東庄県民の森 イベント情報](#)で検索

房総横断ハイキング（約14km） 定員：25名

内浦山県民の森→保田井ダム

◇開催日／1月16日（木） ◇参加費／1,400円

早春の石尊山古道ハイク（約14km） 定員：25名

君津黄和田畑の石尊歩道→妙法生寺

◇開催日／3月10日（火） ◇参加費／1,400円

春の森の自然観察会（約4km） 定員：20名

春の花が咲く森を歩きます。

◇開催日／3月22日（日） ◇参加費／500円

申込・問合せ／内浦山県民の森 ☎04-7095-2821

詳しくは、[内浦山県民の森 イベント情報](#)で検索

冬の野鳥観察会 定員：20名

日本野鳥の会会員とともに、野鳥の観察をします。

◇開催日／1月11日（土）

◇参加費／800円

申込・問合せ／館山野鳥の森 ☎0470-28-0166

詳しくは、[館山野鳥の森 イベント情報](#)で検索

しいたけ教室 定員：20名

しいたけの原木栽培に挑戦します。

◇開催日／1月19日、26日、2月2日

◇参加費／1,500円

申込・問合せ／大多喜県民の森 ☎0470-82-3100

詳しくは、[大多喜県民の森](#)で検索

里山じまん⑤

安馬谷里山研究会

台湾での「地景の持続的発展のための国際フォーラム」に参加して



今年 4 月 18 日から 23 日にかけて台湾で表題の国際フォーラムが開催されました。この会議に千葉県からは小西由希子、中村俊彦、横山武、笹子全宏 4 人が研究発表しました。6 ヶ国 240 名参加の大会であり、主催は台湾地理学会、ジオパーク協会、国立公園協会であり、課題は地景の持続可能な開発、ジオパークや国立公園のありかた、里山の新しい取り組みでした。安馬谷里山研究会からは地球温暖化防止への取り組みとして 3.5ha の雑木林を切り開き、桜や椿などを植樹することにより整備した山から注ぐ鉄分を含んだ有機物が海のプランクトンを育て、生物多様性を実現していることを説明し、里山・里海活動としての取り組みを発表しました。地景観察は台北から東に 15 km の野柳と和平島であり海岸は砂岩の上に鉄分の多い岩が噴火により落下したところが削られて素晴らしい景色でした。さらに 15 km 行くと鼻頭龍洞地質公園では山の散策し、下の海岸岸壁は風化したすごい風景でした。台湾との交流はちば里山センター理事であった故風間俊雄さんが始めたもので、永く続けたいと思います。



女王頭(クイーンズヘッド) (安馬谷里山研究会 代表 : 横山 武)

安全コラム⑨

補講は、令和 2 年 7 月までに!

労働安全衛生規則の一部改正により、伐木等業務特別教育修了者は補講が必要になりました。補講を受講しなかった場合は、令和 2 年 8 月からチェーンソーを用いた伐木等の作業に就くことができなくなります。

チェーンソー特別教育補講日程 (2019 年度)

◇講習時間/2 時間 30 分 (学科 : 2 時間 実技 : 30 分)

◇受講料/5,500 円

■千葉県森林組合南部支所 会場 ☎0439-37-2004

1/17 (金)、2/1 (土)、2/17 (月)、3/7 (土)、3/19 (木)

申込・問合せ/〒292-1168 君津市西栗倉 135

■ちば里山センター 会場 ☎0438-62-8895

1/19 (日)、2/9 (日)

申込・問合せ/

〒299-0265 袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148

■林災防千葉県支部 会場 ☎0475-53-0123

1/11 (土)、1/25 (土)、2/8 (土)、2/22 (土)、3/7 (土)

申込・問合せ/〒283-0823 東金市山田 800

注意事項 ① 上記は第 36 条第 8 号の修了者の日程。

② 各会場により定員数が異なりますので直接会場に問合せ。

③ 申込書は希望される受講日の会場へ送付 (10 日前までに必着)

里山の風にゆられて⑬



センニンソウ<仙人草> キンポウゲ科科センニンソウ属
里山に秋の気配を感じ始めたころ路肩にひっそりと咲いているのがセンニンソウである。和名は種子に付く綿毛を仙人の鬚に見立てたことに由来する。別名は「ウマクワズ」といわれ有毒植物で馬や牛が絶対に口にしないことを意味する。

写真・文 赤松義雄 R1.9.19 袖ヶ浦市奈良輪提

~編集後記~ 今年は台風 15、19 号被害の影響もあり、いろんな行事の中止、変更を余儀なくされて、里山新聞の発行も遅れてしまい、こんな時こそ素早く情報を伝えたかったのですが、今は力のなさを感じるばかりです。来年はもっとスムーズに発行出来るようにしたいと思います。 Y. A

入会申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896 (平日 9 : 00~17 : 00)

E-mail info@chiba-satoyama.net ホームページ <http://www.chiba-satoyama.net/>